

(案)

令和元年(2019年)10月 日

札幌市長 秋 元 克 広 様

札幌市環境影響評価審議会
会 長 川 崎 了

(仮称)北海道石狩湾沖洋上風力発電事業計画段階環境配慮書について (答申)

令和元年9月12日付け札幌対第50807号にて当審議会に諮問のあった標記の件について、下記のとおり結論を得たので答申する。

記

本事業では100基を超える風車が設置されることにより、石狩湾を望む景観に影響を及ぼすおそれがあることから、事業計画の更なる検討に当たっては、次に掲げる景観に関する事項について検討を加え、本事業による環境影響を極力回避又は低減すること。また、検討結果を方法書以降の手續に反映させること。

1 景観について

- (1) 風車の密集や広がりによる影響を適切に把握するため、調査、予測及び評価に当たっては、最新の知見や事例の収集に努め、フォトモンタージュを作成する等のより適切な方法を導入したうえで、住民意見等を踏まえ評価を行うこと。
- (2) 眺望点や景観資源の選定に当たっては、自然的景観のみならず、史跡や文化財などの歴史的景観資源や、文学や詩歌などで謳われている風景などの保全についても配慮し、適切な地点を選定すること。